

## 環 境 報 告 書

令和 4 年 7 月報告

事業所名	株式会社信州グリーン			認定 ランク	☆☆
概 要	所 在 地	松本市大字島内 1259 番地 137			
	代 表 者	代表取締役 藤原 繁幸			
	概要 (従業員数・ 事業内容等)	主な事業内容：総合建設業（土木工事、建築工事、とび・土工、 石工、舗装工事、造園工事、水道工事） 産業廃棄物収集運搬業、肥料販売業 従業員 33 名 資本金：2000 万円			
	担 当 者	所属	本社	名前	葛西 陽一
	連 絡 先	電話	0263-47-6303	FAX	0263-47-8580

## ○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	（別紙 1） 信州グリーン環境方針 基本理念 株式会社信州グリーンは、自然豊かな信州において、芝生緑化のパイオニアとして継続的に事業を展開してきました。今後も、緑化事業により、地球環境問題への取り組みを行い地域の環境活動を継続的に行っていきます。  行動指針 ① 環境関連法規等を遵守します。 ② 二酸化炭素排出量の削減を行います。 ③ 廃棄物の発生を抑制し、適正な処理と、リサイクルの促進に取り組みます。 ④ 水資源の節水に取り組みます。 ⑤ グリーン購入の促進に取り組みます。 ⑥ 化学物質使用の削減に取り組みます。 環境に配慮した建設工事を行い、地域の環境保全を行います。
環境に関する取組み目標	空調の設定温度の適正化や LED 照明の導入等の省エネ促進 「残さず食べよう！」推進事業所の認定取得 買い物袋持参の啓発や裏紙の利用によるごみ減量化の推進 排出ごみのリサイクル率の向上 自然や生物多様性に配慮した開発の実施

	<p>環境教育の実施</p> <p>水資源の節水</p> <p>グリーン購入の促進</p> <p>化学物質使用の削減</p>
<p>具体的な取組み内容</p>	<p>空調の設定温度の適正化や LED 照明の導入等の省エネ促進</p> <p>事業所内照明 LED 化を維持する。</p> <p>空調の設定温度（冷房 28 度、暖房 20 度）を徹底し確認する。</p> <p>「残さず食べよう！」推進事業所</p> <p>「30,10 運動」の趣旨を全体で理解できるよう推進する。</p> <p>買い物袋持参の啓発や裏紙の利用によるごみ減量化の推進</p> <p>買い物時におけるマイバッグ利用や裏紙利用に関する環境負荷に対するメリットをアピールすることにより社内全体での理解を深める。</p> <p>排出ごみのリサイクル率の向上</p> <p>ゴミの行方を把握することによりリサイクル率を向上させる。</p> <p>自然や生物多様性に配慮した開発の実施</p> <p>地域に適合した多様性の理解とそれに合わせた開発を行う。</p> <p>環境教育の実施</p> <p>社外に向けた環境教育の機会を設定する。</p> <p>水資源の節水</p> <p>職種柄水道を使用する機会が多いので社内で節水できるかどうかを検討する</p> <p>グリーン購入の促進</p> <p>社内備品購入時に注意して購入する。</p> <p>化学物質使用の削減</p> <p>植栽の植生促進のために行う化学物質について検討する。</p>
<p>実施結果（成果）</p>	<p>空調の設定温度の適正化や LED 照明の導入等の省エネ促進</p> <p>昨年度は事務所内だけでなく階段の照明を LED 化して省エネを促進した。社長が率先して細やかにチェックすることで全体の意識が変化した。</p> <p>「残さず食べよう！」推進事業所としての取り組み</p> <p>感染症対策として一度も宴会等を実施しておらずこの一年の取り組みはなし</p> <p>ごみ減量化の推進</p> <p>紙ごみの減量に裏紙の使用を推進した。また、社内ネットワークをクラウド化させることでタブレット、スマートフォンでの視認できるようにし印刷物からの紙ごみの減量化を推進した。排出ごみのリサイクル率の向上</p> <p>段ボール、新聞、雑誌チラシ等をごみ処分ではなく資源再生業者に持ち込むことによりリサイクルを推進した。</p> <p>金属ごみ等も混合廃棄物としてではなく分解して金属ごみとすることによりリサイクルにより注力した。</p> <p>自然や生物多様性に配慮した開発の実施</p> <p>事業そのものが緑化の促進に大いに関連した業種であるため、造園業種内に</p>

	<p>においては植樹や張芝の育成過程において天然素材を使用し、乳酸菌の働きに着目した自社開発の「エコアース N」により、植物が健康に育つ仕組みを用いた肥料を使用した。</p> <p>庭の剪定を適切な技術で行うことにより、適切な植物の育成を推進した。</p> <p><b>芝生の仕組みに関する環境教育の実施</b></p> <p>サンプロアルウィンでの芝生体験イベントや4月8日（芝の日）などのイベントの機会に主催者側として積極的に参加し、参加者に芝生の仕組みについて理解を深めるためのプレゼントを行ったり、良質な芝生のグラウンドに触れてもらったりすることで芝生に親しんでもらう機会を増やした。</p> <p><b>水資源の節水</b></p> <p>事業内特に天然芝の育成においては、状況が許す限り灌漑に用水路からの流水の使用を推進し水道からの水資源の削減に努めた。現場の散水作業や液肥散布希釈用の水に関しては用水路からの水を使用することにより水資源の節水に努めた。</p> <p><b>グリーン購入の促進</b></p> <p>社内備品購入時にはグリーンマークのついている商品を選択することに努めた。</p> <p><b>化学物質使用の削減</b></p> <p>当社開発の酵母と植物性乳酸菌入り特殊液体肥料「エコアース N」肥料精製から発酵肥料に至るまで天然成分のみで構成されており、これを事業に使用することで化学物質の削減に努めた</p>
<p>課題・問題点とその改善に向けて</p>	<p>昨年度よりも「行動指針」を意識して全社員で取り組んで eco オフィスマつもとを推進することにより☆☆☆がとれるような形態づくりに励んでいきたい。</p>
<p>その他、アピールポイント等</p>	<p>とりわけ園庭緑化や造園など家庭の庭から園庭校庭、グラウンドに至るまでエコな環境づくりを事業の柱としているものとして社内環境においても eco を目指してまいります。</p>